



進化はつづくよ、
鉄の道

日本のレールづくりは1901年、
八幡製鉄所創業と同時にスタートしました。以来、
新日鉄は在来線から、貨物、新幹線まで日本中の鉄
道を支えてきました。1964年に開通し、つねに高速化
を追求し続ける新幹線では、うねりを抑え、寸法精度を
極限まで高めた真っ直ぐなレールが求められます。その
ために新日鉄は、高精度の新しい圧延技術を導入するな
ど様々な工夫と改良を重ね、寸法精度の飛躍的な向上を
実現。新幹線が世界に誇る“速くて乗り心地の良い”走行
を可能にしてきました。日本の列車を安全に、もっと
快適に。これからも最高の品質で応えてい
きたい。時速300kmを超えて走
るその足下で、きょうも
新日鉄のレールは
進化し続けます。

先進のその先へ、新日鉄

www.nsc.co.jp